

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム翔あかなべ

目標達成計画

作成日: 平成 26年 11月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	35	2年続けて床上浸水の被害がでており、水害は最も身近な災害である。 有事にスムーズな対応ができるよう、より具体的な準備をしておく必要がある。	これまでと同レベルの災害が発生した際に被害を出さず対応が可能となる。	①緊急時の対応、管理者の動きを詳細にマニュアル化する。 ②水害発生時の訓練を定期的に行う。	3ヶ月
2	6	やむを得ず身体拘束(臥床中のベッド柵設置)を行っている利用者があり、身体拘束に対するスタッフの意識を高く保つ必要がある。	拘束を行わずに済むケア方法をフロアのスタッフ一人ひとりが話し合える状況になる。	身体拘束に関する基礎知識の学習を施設全体で行っていく。	12ヶ月
3	2	近隣に顔なじみはできつつあるも、地域そのものとのつきあいはまだ薄い。	所属する自治体とうより関っていく。	自治会が主催するイベントや掃除等の作業に参加する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。